

市民文化部

市民相談	- 1
消費生活行政及び計量行政	- 2
市民活動	- 4
住民組織	- 6
地区市民センター	- 7
文化振興	- 13
生涯学習	- 15
文化会館	- 16
泗翠庵	- 17
都市提携	- 18
多文化共生	- 20
男女共同参画	- 21
戸籍・住民記録	- 24
住居表示整備事業	- 25
四日市地域総合会館あさけプラザ	- 26
(財)四日市市まちづくり振興事業団	- 29

市民相談

市民相談は、市民の市政に対する相談をはじめ、日常生活で起こる各種の問題の相談に応じ、市民と行政に携わるものとのコミュニケーションのパイプとしての役目を果たすことを目的としている。また、平成 19 年度から多重債務者の法的整理の相談窓口になっている。年間 5,259 件の相談を受けた。

また、平成 21 年度は前年度に引き続いて毎月定期的に特別相談(弁護士相談、司法書士相談、行政書士相談)を実施したほか、社会保険労務士相談を開始した。それ以外にも、各機関の協力を得て、公証人による遺言・各種契約・離婚などの公証相談、及び行政相談委員による行政相談を実施した。

市政に関する相談(市民相談分)

(平成 21 年度)

部 局	件 数	主 な 内 容
政 策 推 進 部	15	政策
総 務 部	46	行政
財 政 経 営 部	121	税務
市 民 文 化 部	1,058	戸籍、住民登録、自治会、特別相談等
福 祉 部	288	介護、高齢者福祉、障害者福祉、児童福祉、生活保護等
健 康 部	169	年金、国民健康保険、心の健康相談等保健所事業
商 工 農 水 部	19	商業一般、農林、水産、畜産
環 境 部	95	悪臭、騒音、清掃、予防衛生等
都 市 整 備 部	104	開発許可、道路維持補修、河川、公園、建築
市 立 病 院	9	病院業務一般
市 議 会	4	議会業務一般
教 育 委 員 会	19	学校教育、青少年対策
上 下 水 道 局	25	上水道、下水道
消 防 本 部	3	消防業務一般
そ の 他	17	その他業務
合 計	1,992	

市政以外の相談

内 容	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度
国の所管に関するもの	86	117	170	234	209
県の所管に関するもの	31	46	76	15	29
民事の要素を有するもの	1,719	1,536	1,466	1,828	1,704
家事の要素を有するもの	1,044	1,014	1,155	1,316	1,325
合 計	2,880	2,713	2,867	3,393	3,267

特別市民相談

種 別	件 数	主 な 内 容
弁 護 士 相 談	313	家事、民事、その他の法律的な問題についての弁護士による相談
司 法 書 士 相 談	272	金銭貸借や賃貸トラブル、相続などの司法書士による相談
行 政 書 士 相 談	37	許認可、遺言・相続・契約書面作成、後見などの行政書士による相談
公 証 相 談	50	遺言、各種契約、離婚などの公証人による相談
行 政 相 談	2	行政の仕事についての苦情や困りごとの相談
社会保険労務士相談	29	年金、社会保険、労働問題などの社会保険労務士による相談
合 計	703	

消費生活行政及び計量行政

消費生活行政

昭和 47 年 6 月に「四日市市消費者センター」を開設し、市民からの消費生活に関する相談等を迅速に処理するとともに生活情報を提供してきた。平成 17 年度から市民の相談ニーズに合致した対応ができるよう消費生活相談と市民相談を統合した。平成 21 年度の消費生活相談の件数は 1,407 件（前年度比 246 件減）であった。

相談内容では、一般の店舗販売に関する相談が増えているが、特殊販売では通信販売に関する相談の割合が半分を占めている。また、ハガキ等による架空請求・不当請求の相談は年々減少しているが、依然として 224 件の相談があった。

年代別では、各年代相談件数が減少する中、70 歳以上の高齢者の相談件数だけが増加しており、60 歳代の相談件数と合わせると全体の約 35% を占めている。

相談窓口を設置する一方、「消費生活出前講座」や「消費生活ワンポイント講座」を平成 21 年度は計 22 回開催するなど消費者被害の未然防止に努めている。また、子ども対象の「夏の子ども教室」を開催したり、『広報よっかいち』に「消費生活トラブル情報」を掲載するほか、四日市消費者協会に委託して『みんなの消費生活展』や『消費者講座』を開催するなど、消費者への啓発を行った。

年度別消費者センター相談件数

			17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	
相談件数 合計			2,726	2,349	2,149	1,653	1,407	
方法	文書相談		0	0	1	1	0	
	来所相談		565	404	322	251	229	
	電話相談		2,161	1,945	1,826	1,402	1,178	
種別	苦情	一般	店舗	376	269	374	357	398
		特殊販売	訪問販売	323	229	203	145	131
			通信販売	1,558	1,230	885	633	388
			マルチ商法	56	39	27	26	23
			電話	160	131	104	91	85
			ｶﾞﾃﾞｲﾌﾞ ﾀﾌﾞｼﾞｮﾝ	8	30	2	2	3
			その他	17	16	21	18	10
			不明	220	239	211	88	110
		計	2,342	1,914	1,453	1,003	75	
	苦情 合計		2,718	2,183	1,827	1,360	1,148	
	問い合わせ	一般	店舗	3	24	15	22	13
		特殊販売	訪問販売	0	3	8	4	4
			通信販売	2	9	8	5	1
			マルチ商法	0	1	3	0	0
			電話	0	1	2	3	0
ｶﾞﾃﾞｲﾌﾞ ﾀﾌﾞｼﾞｮﾝ			0	0	0	0	0	
その他			0	0	0	0	0	
不明			3	128	286	259	241	
計		5	142	307	271	246		
問い合わせ 合計		8	166	322	293	259		
談者 (性別相)	男		1,040	938	762	602	577	
	女		1,611	1,365	1,313	979	773	
	団体		75	46	74	72	58	
者 (地域別相談)	市内		2,690	2,314	2,118	1,628	1,388	
	市外		36	35	31	25	19	
	不明		0	0	0	0	0	

計量行政

昭和40年4月に計量法による特定市の指定を受け、計量器の定期検査・立入検査・量目検査等を実施している。平成21年度には、344戸の検査戸数（検査台1,194台）があり、そのうち民間計量士による代検査は、164戸の検査戸数（検査台数863台）にのぼっている。

また、事業者に対し、適正な計量の実施を確保すべく監視指導を徹底するとともに、消費者保護の立場から一般消費者参加の試買量目調査を実施し、消費者に計量に対する認識を高めてもらうことにより、計量思想の普及啓発に努めている。

市民活動

「市民活動」の活性化に努め、市民が主役のまちづくりを推進していく。

個性あるまちづくり支援事業

市民による先駆的で夢のある自主的な公益活動を支援するため、平成 16 年度に創設した制度。
(平成 22 年度)

枠 別	種 別	助成限度額	補 助 率	応募団体数	採択団体数
一般枠	立ち上げ期	10 万円	10 / 10	9 団体	9 団体
	中級編	75 万円	50 万円以下 9 / 10 50 万円超 2 / 3	23 団体	23 団体
	上級編	30 万円	3 / 5	7 団体	7 団体
NPO 法人枠	中級編	75 万円	50 万円以下 9 / 10 50 万円超 2 / 3	5 団体	4 団体
	上級編	30 万円	3 / 5	1 団体	1 団体
防犯活動枠	立ち上げ期	10 万円	10 / 10	1 団体	1 団体
	中級編	75 万円	50 万円以下 9 / 10 50 万円超 2 / 3	1 団体	1 団体
	上級編	30 万円	3 / 5	4 団体	4 団体
計				51 団体	50 団体

【採択した事業の主な内容】 ()内は団体数

生活環境(3)、自然環境(7)、歴史文化(9)、伝統行事(4)、福祉・子育て・健康づくり(8)、まちづくり(10)、防犯(5)、子ども見守り(1)、その他(3)

*なお、平成 16 年度事業に応募のあった自主防犯活動団体により、団体間の情報交換ネットワークとして「四日市市地域防犯協議会」を組織し、継続的に毎月実践的な協議を行っている。

市民活動ファンド

公益にかかわる活動を行う市民活動団体を支援し、本市の市民活動をより活発にすることを目的として、平成 12 年に設立された。平成 20 年度から、他に支援制度等がないものの公益的な市民活動として社会貢献が認められるような活動に対して助成している。

(平成 22 年度)

補助額	補助率	応募団体	採択団体
75 万円限度	50 万円以下 9 / 10 50 万円超 2 / 3	2 団体	2 団体

【採択した事業の主な内容】 ()内は団体数

福祉 (2)

なやプラザ

旧納屋小学校を改修した施設であるなや学習センターと市民活動センターは、平成 18 年 4 月 1 日から、指定管理者制度の導入に伴い、「四日市市なやプラザ」として、市民活動団体による一体的な管理運営が行われている。これにより、利用者の利便性がさらに向上し、市民活動が活性化され、市民主体のまちづくりがより一層推進されることを狙っている。

1. なやプラザの概要

- (1)所在地 四日市市蔵町 4-17 (旧納屋小学校)
- (2)延床面積 1563.28 m²
- (3)休館日 12 月 29 日～1 月 3 日、毎月第 2 月曜日 (祝日にあたる場合はその翌日)
- (4)開館時間 午前 9 時～午後 10 時

利用者数

(単位：人)

年 度	H17	H18	H19	H20	H21
なや学習センター	34,631	40,819	44,324	44,599	45,261
市民活動センター	6,939	8,094	8,225	8,244	7,085
合 計	41,570	48,913	52,549	52,843	52,346

住民組織

市は各地区連合自治会と広報連絡(各種広報文書の組回覧、各種啓発ポスターの掲示)等の事務について委託契約を結び、市政への協力を求めている。

自治会の組織(平成 22 年 4 月 1 日現在)

- ・町自治会数 706
- ・町自治会組数 7,684
- ・地区連合自治会数 28
- ・地区連合ブロック数 6(ブロック代表 各 1 名)
- ・自治会加入世帯数 101,261
- ・自治会加入率 84.6%

委託料

(平成 22 年度)

区 分	単 位	委託料(年額)
地 区 連 合 自 治 会 長	1 人	72,000 円
地区連合会自治会長調査研究費	1 人	10,000
町 自 治 会 長	1 人	54,400
町 数 割	1 町につき	2,080
世 帯 数 割	1 世帯につき	116
自治会長研修会費	1 人	2,000
ブ ロ ッ ク 調 整 会 議 費		582,400

連絡員制度

市長が委嘱した市連絡員(平成 22 年 4 月現在 401 名)は、週 1 回以上市役所、楠総合支所または各地区市民センターに登庁し、市から出される各種文書類の配布を行っている。

地区市民センター

住民の自主的な地域社会づくりを目指し、活発な地域活動を醸成するための施策として、昭和 53・54 年度に全市 22 地区(本庁管内を除く)のうち 9 地区を地区市民センターとして試行し、施設整備等を進めてきた。

このような背景のなか、広報広聴活動や社会教育活動を通じて地域社会づくりに対する市民意識の高揚や地域活動の助長に努めてきた結果、市民の間で次第にその気運が高まってきた。こうした状況に対応するため、昭和 55 年度から全地区(本庁管内を除く)を地区市民センターに移行させ、さらに昭和 56 年度には、本庁管内についても中部地区市民センターを発足させ、市民と行政が一体となった地域社会づくりを推進してきている。

地区市民センターの概要

従来の出張所と公民館を施設の、機能的に一体化し、住民と行政の接点、あるいは住民相互の出会いの場として地域社会づくりの拠点となるよう位置づけている。また、センターの業務は、地域振興業務 公民館業務 窓口業務の 3 つからなっており、地域行政を推進する拠点として地域課題の解決や各種講座など自主事業を実施している。

センターが発足して四半世紀が経過するなかで、センターを拠点とするグループ・サークル活動も盛んになり、各種団体の活動や団体相互が連携した地域ぐるみの活動も定着している。地域住民の発想による活動が地域づくりの原点であり、平成 15 年度から各地区市民センター内に団体事務局を設置し、「地域社会づくり総合事業費補助金」による財政面での支援を行っている。また、平成 16 年度から民間で培われたノウハウを活かしたまちづくりが行えるよう地域マネージャーの配置を開始した。平成 18 年度には全地区に配置が完了し、市民主体のまちづくりの推進に努めている。

地区市民センター施設状況

施設名 (TEL)	所在地	設置建設 年月日	構造	面積		概要
				敷地	建物延	
富洲原地区 市民センター 365-1136	富洲原町 31-46	設置 S. 55. 4. 1 建設 竣工 S. 56.10.20	RC造 2F	m ² 2,025.32	m ² 672.50	会議室、和室、料理実習室、 図書室、事務室
富田地区 市民センター 365-1141	富田一丁目 24-47	設置 S. 55. 4. 1 建設 竣工 S. 41. 3.31 増改築 S. 57. 3.31	RC造 2F	1,070.61	1,111.52	会議室、和室、料理実習室、 図書室、事務室
羽津地区 市民センター 331-4465	大宮町 13-12	設置 S. 54. 4. 1 建設 竣工 S. 54. 3.31	RC造 3F	1,120.89	667.23	会議室、和室、料理実習室、 図書室、事務室
常磐地区 市民センター 351-1751	城西町 8-11	設置 S. 55. 4. 1 建設 竣工 S. 57. 3.31 増改築 H. 4. 3.30	RC造 2F	2,637.54	772.32	会議室、和室、料理実習室、 図書室、事務室

施設名 (TEL)	所在地	設置建設 年月日	構造	面積		概要
				敷地	建物延	
日永地区 市民センター 345-3197	日永西 三丁目 2-18	設置 S. 55. 4. 1 建設 竣工 S. 55. 3.31	RC造 2F	m ² 2,383.65	m ² 656.84	会議室、和室、料理実習室、 図書室、事務室
四郷地区 市民センター 321-2021	室山町 645 - 1	設置 S. 54. 4. 1 建設 竣工 S. 54. 3.31	RC造 2F	3,034.92	798.39	会議室、和室、料理実習室、 図書室、事務室
内部地区 市民センター 345-3951	采女町 857 - 1	設置 S. 55. 4. 1 建設 竣工 S. 47.11.6 増改築 S. 58. 3.31	RC造 2F	1,803.17	738.94	会議室、和室、料理実習室、 図書室、事務室
塩浜地区 市民センター 345-2403	塩浜本町 一丁目 1	設置 S. 55. 4. 1 建設 竣工 S. 58.10.14	RC造 2F	1,323.76	688.66	会議室、和室、料理実習室、 図書室、事務室
小山田地区 市民センター 328-1001	山田町 1373 - 3	設置 S. 53. 4. 1 建設 竣工 S. 55. 3.31	RC造 2F	7,551.23	537.19	会議室、和室、料理実習室、 図書室、事務室
川島地区 市民センター 321-3020	川島新町 1	設置 S. 54. 4. 1 建設 竣工 S. 61. 9. 3	RC造 2F	2,439.61	653.00	会議室、和室、料理実習室、 図書室、事務室
神前地区 市民センター 326-2751	高角町 2977	設置 S. 55. 4. 1 建設 竣工 S. 56. 3.31	RC造 2F	2,776.62	587.01	会議室、和室、料理実習室、 図書室、事務室
桜地区 市民センター 326-2051	桜町 1399	設置 S. 55. 4. 1 建設 竣工 S. 60. 9.11	RC造 2F	2,222.36	702.40	会議室、和室、料理実習室、 図書室、事務室
三重地区 市民センター 331-3276	東坂部町 71 - 2	設置 S. 53. 4. 1 建設 竣工 S. 49. 3.30 増改築 H元. 3.23	RC造 2F	3,087.90	834.55	会議室、和室、料理実習室、 図書室、事務室、ホール
県地区 市民センター 326-0001	赤水町 957	設置 S. 55. 4. 1 建設 竣工 S. 59. 9. 3	RC造 2F	1,569.20	588.12	会議室、和室、料理実習室、 図書室、事務室

施設名 (TEL)	所在地	設置建設 年月日	構造	面積		概要
				敷地	建物延	
八郷地区 市民センター 365-0259	千代田町 267 - 1	設置 S. 55. 4. 1 建設 竣工 S. 56. 3.31	RC造 2F	m ² 2,425.00	m ² 669.44	会議室、和室、料理実習室、 図書室、事務室
下野地区 市民センター 337-0001	朝明町 914 - 3	設置 S. 53. 4. 1 建設 竣工 S. 52. 2.14 増改築 H 4. 3.30	RC造 2F	1,681.66	631.19	会議室、和室、料理実習室、 図書室、事務室
大矢知地区 市民センター 364-8704	下さざらい 町 1-3	設置 S. 54. 4. 1 建設 竣工 S. 63. 2.12	RC造 2F	2,475.83	685.44	会議室、和室、料理実習室、 図書室、事務室
河原田地区 市民センター 345-5020	河原田町 159	設置 S. 53. 4. 1 建設 竣工 S. 51. 3.31 増改築 H 2. 3.31	RC造 2F	1,519.39	478.50	会議室、和室、料理実習室、 図書室、事務室
水沢地区 市民センター 329-2001	水沢町 2109 - 2	設置 S. 55. 4. 1 建設 竣工 S. 58.11.4	RC造 2F	1,634.20	569.69	会議室、和室、料理実習室、 図書室、事務室
保々地区 市民センター 339-0001	市場町 3039 - 5	設置 S. 54. 4. 1 建設 竣工 S. 53. 3.21 増築 H 6. 7.22	RC造 2F	2,015.65	647.67	会議室、和室、料理実習室、 図書室、事務室
海蔵地区 市民センター 331-3284	大字 東阿倉川 622 - 1	設置 S. 55. 4. 1 建設 竣工 S. 59. 6.5	RC造 2F	2,956.75	658.69	会議室、和室、料理実習室、 図書室、事務室
橋北地区 市民センター 331-3787	新浜町 14-11	設置 S. 55. 4. 1 建設 竣工 S. 54. 6.12	RC造 2F	1,381.59	567.81	会議室、和室、料理実習室、 図書室、事務室
中部地区 市民センター 354-0336	西浦一丁目 8-3	設置 S. 56. 4. 1 建設 竣工 S. 54. 3.31	RC造 4F	971.45	2,386.73	会議室、和室、料理実習室、 図書室、事務室、音楽室 美術室、茶室

地区市民センターの事業

23地区市民センターにおいて、それぞれの地域の学習ニーズに対応した学級・講座の開催、並びに地域社会づくり事業活動への支援をおこなった。

平成21年度 地区市民センター事業別活動状況

学 級 ・ 講 座		回数	延人数
対 象 別	青 少 年	34	1,193
	女 性	12	244
	成 人	68	1,223
	高 齢 者	33	2,591
	リ - ダ -	5	165
	全 住 民	94	3,616
内 容 別	スポーツ・レクリエーション	20	525
	家 庭 教 育	163	6,440
	人 権 教 育	19	717
合	計	448	16,714

平成21年度 地区市民センター施設利用状況

利 用 種 別	回 数	延人数	
セ ン タ - 事 業	773	22,101	
サ - ク ル 活 動	18,950	202,086	
社会教育関係団体活動	3,623	79,204	
四 日 市 市 関 係	1,777	54,264	
そ の 他 団 体 活 動	5,047	97,586	
合	計	30,170	455,241

地域社会づくり総合事業費補助金実施事業

地区	平成21年度「地域社会づくり総合事業費補助金」実施事業			
富洲原	・夏まつり ・人権講演会	・自主防災隊視察研修 ・スポーツフェスタ	・文化祭 ・駅伝大会	・一人暮らし高齢者年賀状配布
富田	・敬老会 ・夏まつり	・総合体育祭 ・EMダンゴ作り	・文化祭 ・桜の木の剪定	・昼食懇談会
八郷	・グラウンドゴルフ ・研修会 ・スポーツフェスタ スマイルdeナイト	・伊坂ダムでのイベント ・クリーンアップ八郷 ・花づくり講習会	・ふれあいまつり ・サイクリングロード整備 ・町別地区懇談会	・おとぎ運動会 ・補導バトロール ・子育て支援事業
下野	・敬老行事 ・まちづくり研修 ・ふれあい餅つき大会	・里山整備 ・ホームページ運用 ・クリーン作戦	・世代交流グラウンドゴルフ ・水琴窟及び周辺庭園の維持管理 ・防災台帳(防災マップ)整備	・運動会 ・ますつかみ大会
大矢知	・体育祭 ・高齢者向け映画会 ・一人暮らし高齢者食事懇談会	・盆踊り ・体力づくり事業 ・駅伝	・グループハイキング ・防災研修会 ・球技大会	・文化祭 ・普通救命講習 ・素麺まつり

保々	・里山保全活動 ・補導員研修、講演会 ・歴史ウォーク	・自然観察会 ・パトロール ・講演会	・コウホネの移植、普及活動 ・運動会	・文化祭 ・グラウンドゴルフ大会
羽津	・運動会 ・花いっぱい運動 ・青少年ふれあい活動 ・子育て支援事業	・グラウンドゴルフ大会 ・交通安全対策 ・補導活動 ・寝たきり老人宅への訪問	・ソフトボール大会 ・防災訓練 ・空き缶拾いボランティア	・文化祭 ・パトロール ・餅つき大会
海蔵	・子ども交通安全教室 ・海蔵川・堀川水質チェック ・三世代交流グラウンドゴルフ ・敬老行事	・青少協巡回補導 ・環境教育事業 ・文化祭 ・花いっぱい運動	・福祉体験教室 ・三世代交流ニュースポーツ大会 ・世代間交流事業 ・文化祭への福祉招待	・海蔵川堤防美化活動 ・スポーツフェスタ ・防災研修
橋北	・キャンドルナイトIN橋北 ・橋北獅子舞の継承 ・キッズ川柳	・ふれあいまつり ・クリスマス会 ・大声コンテスト	・橋北通り花いっぱい運動 ・親子ふれあい体操	・一日清掃デー ・パトロール
中部	・園児と高齢者のつどい ・ふれあいひろば、運動会 ・地域健康づくり事業	・三世代交流グラウンドゴルフ ・まちづくり研修 ・ハイキング	・花いっぱい美化事業 ・ふれあい活性事業 ・スポーツ大会	・防災研修 ・青少年育成活動 ・高齢者講座、女性セミナー
川島	・社会を明るくする大会 ・子ども安全確保(見守り・声かけ)	・防犯活動 ・防災活動	・環境改善活動	・千本桜祭
神前	・大日山整備 ・花あるまちづくり ・住民交流運動	・まちづくり視察 ・健康施設維持管理 ・敬老会	・記念植樹 ・運動会	・一斉清掃 ・ウォークラリー
桜	・スポーツフェスタ ・サイクルトライアルセッション ・防災フェスタ ・バードウォッチング ・夏祭り ・ホームページ開設準備	・住民運動会 ・あいさつ運動、パトロール ・防災無線機配備 ・ボランティア講座 ・文化祭 ・緑のふるさとづくり	・親子で水生生物調査 ・子どもを守る家連絡会 ・環境整備(矢合川) ・郷土の史跡めぐり ・ファミリーレクリエーション大会 ・タウンウォッチング	・親子ふれあいデーキャンプ ・人権大会 ・災害対応マニュアル作成 ・秋祭り ・盆踊り大会
三重	・花のあるまちづくり事業 ・巡回補導 ・グラウンドゴルフ ・ソフトボール	・梅木植樹 ・環境美化活動 ・老人と子どもの交流会 ・ウォーキング	・球技大会 ・運動会 ・夏まつり	・人権学習会 ・バレーボール ・ポスターコンクール
泉	・さくらまつり ・ソフトボール大会 ・健康ウォーク ・農業活性化事業	・岡山秋まつり ・ゲートボール大会 ・福祉年賀状、お食事会 ・ホームページづくり	・補導パトロール、講演会 ・グラウンドゴルフ大会 ・納税啓発事業 ・綱引大会	・けんけんパーク整備事業 ・スタンプラリーウォーク ・人権フェスタ ・まちづくり視察研修
常磐	・交通安全作品展 ・青春バス旅行 ・高齢者の集い(映画会) ・常磐まつり ・健康づくり、スタンプラリー	・交通安全フェスティバル ・一人暮らし高齢者弁当 ・職業体験 ・ホームページ制作・運用 ・あいさつ運動・パトロール	・ドッチボール大会 ・一人暮らし高齢者福祉年賀状 ・育児サークル活動 ・視察・研修 ・ウォーキング大会	・スポーツフェスタ ・敬老行事 ・環境美化行事 ・料理教室 ・グラウンドゴルフ大会
四郷	・花いっぱい運動 ・あいさつ運動 ・文化祭 ・スポーツフェスタ ・ニュースポーツ大会	・町の美化運動 ・ホームページ作成 ・講演会(防犯) ・防災訓練 ・スポレクひろば	・ウォーキング大会 ・交通安全事業 ・ふれあい夏まつり ・ウィンターフェスティバル	・グラウンドゴルフ大会 ・1人暮らし給食支援 ・外国人とのふれあい事業 ・日帰りバス旅行
小山田	・潤いのある街づくり(花作り) ・視察研修(青少年健全育成)	・運動会 ・文化祭	・補導パトロール ・ホームページ開設	・親子ふれあいDay

水沢	・花いっぱい運動 ・福祉年賀状 ・もみじ祭りを描く会	・もみじ祭り ・三世代グラウンドゴルフ大会 ・青少年問題講演会	・平和を願う住民の集い ・もみじ祭りウォーク大会	・福祉ボランティア体験 ・運動会
日永	・ふれあいまつり ・健康づくりハイキング ・視察研修(青少年健全育成) ・ホームページ作成	・文化祭 ・ウォークラリー大会 ・視察研修(まちづくり)	・健康まつり ・一人暮らし高齢者のつどい ・人権・同和懇談会	・グラウンドゴルフ大会 ・あいさつ運動 ・青少年人権啓発推進
内部	・ソフトボール大会 ・文化祭 ・三校二園清掃 ・凧揚げ大会 ・あったか訪問	・グラウンドゴルフ大会 ・うつべっこコンサート ・内部川清掃 ・子育て支援・こままわしまつり	・カローリング大会 ・史跡を訪ねるバスツアー ・エコかわせみ ・五平餅づくり	・健康づくり教室 ・ゴキブリ団子づくり ・デイキャンプ ・ホームページの運営
塩浜	・文化祭	・世代間交流	・敬老会	・ビオトープ池整備
河原田	・ふれあい農園運営・農園体験 ・運動会 ・親子料理教室 ・視察研修(まちづくり)	・町別体験人権学習 ・文化祭 ・楽遊祭	・腹話術・手品 ・七夕まつり ・竹林まつり	・子ども夏まつり ・手作りおもちゃづくり ・廃食油キャンドルナイト
楠	・行事カレンダーの発行 ・レクリエーションバレー大会 ・ホームページ管理運営	・安全パトロール ・クリーンタウン楠(清掃) ・ボランティア交流会	・防災体験学習 ・球技大会	・一人暮らし高齢者見守り ・科学の祭典
大谷台	・防災啓発活動 ・清掃奉仕 ・人権勉強会	・運動会 ・HP作成、パソコン教室 ・人権だより発行	・花いっぱい運動 ・パトロール	・ウォークラリー ・講演会(青少年健全育成)

文化振興

社会経済が成熟化し、生活していくための物質的な環境は整ってきた今、人びとが心にゆとりを持ち、また潤いのある生活をおくるために、魅力的な文化環境を整備する必要がある。

その中で、文化行政に対する市民要望に応えるため、市民自らの創作活動の場の提供や芸術文化鑑賞機会の充実を図るとともに、市民の文化活動への支援等を行い、芸術・文化活動を振興し、地域文化の創造に努めている。

文化の振興（平成21年度実施状況）

- ・文化行政推進事業.....本市の文化行政を推進することを目的に、文化振興に関する基本計画（文化振興ビジョン）に基づく四日市市文化振興実施計画を具体的に進めるために、庁内関係課で構成する「四日市市文化行政総合企画調整会議」及び、市民が参加し協議する「四日市市文化振興に関する市民会議」を設置し、四日市市文化振興条例による「四日市市文化振興審議会」を開催した。

四日市市文化振興審議会	3回開催
四日市市文化行政総合企画調整会議	1回開催
四日市市文化振興に関する市民会議	3回開催

- ・文化の駅推進事業.....市民が、音楽、ダンス、写真、絵画といった文化活動の発表や体験、また、それらを通じた交流をすることができる拠点をまちのさまざまな場所に「文化の駅」として創出することで、元気で魅力的なまちづくりに資することを目的とする。

文化の駅メインステーション『文化の諏訪駅』（平成21年12月18日オープン）

民間の団体が中心市街地に空き店舗を確保し、美術展示や音楽公演といった市民の文化活動の場を提供したり、自主企画した文化事業を実施したりする場の管理・運営事業に対して補助を行った。

- ・四日市市文化振興基金.....昭和60年4月1日付で創設、平成22年3月31日現在の積立額
221,888,430円

基金を活用し、市民主体の文化活動に対し助成を行う。

市民による文化活動への助成	全市的事业	5件
	地区事業	9件
民間の優れた文化施設を活用した事業		1件

- ・公共ホール音楽活性化事業.....芸術が身近に感じられる環境創りを目的に、高度で本格的な音楽により親しみやすく触れられる機会を提供した。

気鋭のアーティストが2小学校を訪問して身近な場所で演奏し、さらに子どもたちに生のコンサートの鑑賞機会を提供するためのホールコンサートを開催した。

訪問演奏：平成21年12月14日（月）三重小学校、15日（火）塩浜小学校

ホールコンサート：平成22年3月4日（木）文化会館第2ホール

- ・丹羽文雄記念室事業

丹羽文雄記念室整備事業 文化勲章受章作家で、四日市市名誉市民でもある郷土の偉人丹羽文雄氏を顕彰する施設として、博物館内に丹羽文雄記念室を設置している。

（平成18年12月9日設置）

ボランティア語り部事業 市民ボランティア語り部による記念室やゆかりの地を案内する事

業を実施し、毎月20日を「語り部の日」として、記念室内で活動した。

普及啓発の一環として、四日市商業高校の文化祭（平成21年9月4日）において、丹羽原作の映画「東京の女性」の上映会を、博物館学芸員による講演会「作品に垣間見る丹羽文雄の素顔」（平成22年3月20日）を開催した。また、四日市ボランティアフェスティバル（平成22年2月13日・14日・27日・28日）でポスター・チラシによるPRを行った。

- ・平成21年度四日市市文化功労者表彰..... 音楽部門 黒川 裕規
平成21年度四日市市民文化奨励賞受賞... <まちづくり> 富田地区まちづくり委員会
<文化振興> 子ども文化NET
- ・第37回四日市市美術展覧会...日本画部門35点・洋画部門80点・彫刻部門32点・工芸部門58点・写真部門153点・書道部門136点（総出品点数494点 入賞作品数78点）
- ・第59回四日市市民文化祭.....総合フェスティバル、各種ホール催事・展示発表等年間を通じて開催し、43,540人の観客を動員した。

生涯学習

住民自らが各種の活動に参加しながら連帯意識を醸成し、進んで地域社会づくりに参画する気風を育むための生涯学習をめざして、23地区市民センターを中心に住民活動を推進している。また、市民の学習意欲に応じて市民大学一般クラス・熟年クラスを開設するとともに、職員が出向いて市政情報を提供する「いきいき出前講座」を開設し、市民が気軽に利用できる学習機会を提供している。さらに学習情報を検索できるホームページの開設や学習情報誌の発行も行っている。

平成21年度主要事業

(1) 生涯学習の推進

・ 生涯学習いきいき出前講座

行政全般にわたる講座メニューの中から、市民の皆さんが聞いてみたい講座をリクエストし、指定された日時・場所に担当課の職員が出向いて情報を提供する制度で、昨年度、434件の利用があった。

・ 市民大学

〔一般クラス〕

市民の幅広い学習要求に応えるとともに、地域の学習活動の振興を図るため、8コースを開催した。公募による市民団体が企画運営するコースを5コース、大学機関に委託するコースを2コース、四日市をテーマにした講座を1コース開講した。(受講者 481人)

Aコース 市民団体企画運営「そのみちのエキスパートが語る 芸術文化の魅力」

～達人のお話に楽しみ倍増～

Bコース 市民団体企画運営「暮らしの中の人権入門」

Cコース 市民団体企画運営「人生を豊かに」～趣味と健康への誘い!～

Dコース 市民団体企画運営「聞いて得する健康講座」～子どもを成長させる方法～

～大人の方への真の健康づくり～ ～一生、介護されずに生き抜く方法～

Eコース 市民団体企画運営「健康と生活の知識講座」

～専門家が実技を通してお伝えします～

Fコース 四日市大学企画運営「光が溢れ、音が響きあうまち、四日市」

Gコース 四日市市企画運営「意外と知らない!四日市 第三章」～空(そら)～

Hコース 三重大学四日市フロント企画運営「21世紀ゼミナール」

～経済のグローバル化と地域産業～

〔熟年クラス〕

熟年期にふさわしい学習の場を提供し、社会参加への意欲を高めるため、「教養課程」と「専攻課程」を開設し、受講者は講座の受講のほか社会見学・音楽鑑賞会・文化祭等の行事への参加、クラブ活動での作品づくり等に励んだ。(受講者「教養課程」82人、「専攻課程」92人)

文化会館

市民の文化、福祉等生活の充実、向上のため、市制施行80周年記念事業として、昭和57年8月1日に開館し、市民の文化活動の場としての貸館を行うとともに、優れた芸術文化の鑑賞機会を提供してきた。

会館の運営については、市民文化の普及・振興の拠点としての活用を図るため、(財)四日市市文化振興財団(平成20年度から市の他の法人と統合し、(財)四日市市まちづくり振興事業団となる。)を設立してその管理運営を委託してきたが、平成18年4月から指定管理者制度を導入し、(財)四日市市まちづくり振興事業団が指定管理者となって管理運営を行っている。

市民による文化活動の支援事業を充実するなど、市民とともにつくる市民のための文化会館として、施設管理と自主事業について取り組みを進めている。

施設概要

- ・所在地 安島二丁目5-3
- ・総事業費 48億円
- ・敷地面積 20,681m²
- ・延床面積 13,863m² (第1ホール棟 6,323m²、第2ホール棟 2,767m²、会議管理棟 2,298m²、美術展示棟 2,128m²、エントランスホール347m²)
- ・建築面積 8,133m²
- ・高さ 27.6m(最高第1ホール上部)
- ・第1ホール 収容人数 1,786人、舞台：間口18m、高さ9m、奥行き18m
- ・第2ホール 収容人数 609人、舞台：間口15m、高さ7.5m、奥行き14m
- ・第3ホール(会議用) 収容人数300人
- ・第4ホール(会議・展示用) 収容人数400人
- ・展示室 第1展示室、第3展示室、第4展示室、常設展示室
- ・会議室 第1会議室、第2会議室、第3会議室、和会議室
- ・リハーサル室 第1リハーサル室、第2リハーサル室
- ・練習室 第1練習室、第2練習室、第3練習室
- ・その他 レストラン(112席)、駐車場(約400台)、会館事務室、応接室、防災センター

文化会館利用状況(21年度)

- ・ 日数利用率(使用日数を開館日数で割った率)・・・87.4%
- ・ 区分利用率(1日を午前・午後・夜間の3区分に分けた区分使用数を開館区分数で割った率)・・・65.9%
- ・ 入場者数・・・459,694人

泗 翠 庵

茶道は、日本の伝統文化を代表する総合芸術として広く親しまれている。

当施設は、平成6年7月6日に開館し、本市の公共茶室として茶会はもとより、日本間を利用した各種催しに使用されている。また、伝統文化の発展・向上に加え、生活に潤いと心の豊かさを求める時代のニーズに応える施設として、広く市民に利用されるとともに、国際交流に資する施設としても活用されている。平成18年4月からは、文化会館と併せての指定管理制度を導入し、施設の貸館の他にも茶道に関する諸講座を行うなど事業の充実を図っている。

施設概要

所在地	鶉の森一丁目13-17
総事業費	約2億円(備品購入費などを含む)
敷地面積	1,407.0m ²
延床面積	267.8m ²

立礼席

営業時間	午前10時～午後4時
休業日	毎週月曜日(ただし、祝祭日のときはその翌日) 12月28日～1月4日
料金	一服 400円(お菓子付・税込)

来庵者の状況

	開 庵 日	茶 室	立 礼 席	見 学 者
19年度	307日	3,485人	7,162人	1,271人
20年度	300日	3,620人	7,689人	1,835人
21年度	306日	4,813人	7,737人	1,676人

都市提携

米国・ロングビーチ市(姉妹都市)

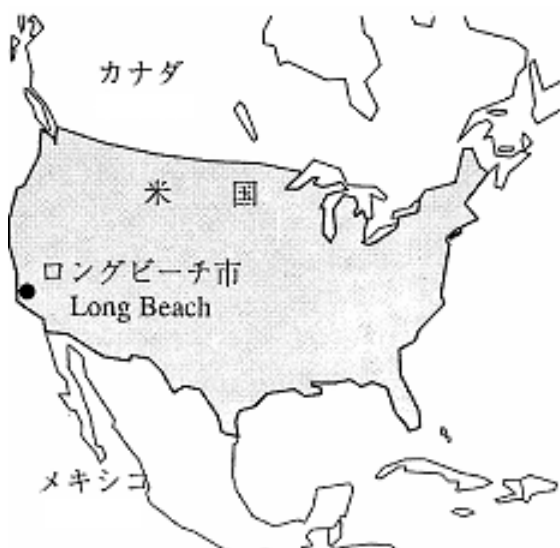
1963(昭和38)年10月7日、米国カリフォルニア州ロングビーチ市との間に姉妹都市提携を結ぶ。同市は、ロサンゼルス市の南約35kmに位置し、自然の立地条件に恵まれ、良港をもち、古くは、漁業中心に発達したが、大油田の発見とともに一躍石油精製などの工業都市へと発展した。

その後、航空機製造などをはじめとする重工業産業が市の代表的な産業となり、今日では、全米を代表する港湾物流をはじめ商業や観光など多種多様な産業がある。およそ10kmにもわたる美しい砂浜と、クイーンメリー号、グランプリレース、そして太平洋水族館でも有名な太平洋に面した、最も美しく、発展性に富んだ国際港湾都市である。



人口	約46万人
面積	129.5 km ²
平均気温	夏21.1 冬12.8
時差	-17時間(夏期は-16時間)

同市とは、市民を中心として国際交流活動を推進する四日市国際交流センター(財団法人四日市市まちづくり振興事業団)との連携による交換学生・教師の相互派遣をはじめ、英語指導員の教育現場派遣、市民各界各層の相互往来等を通して交流を深めており、さらには四日市看護医療大学とカリフォルニア州立大学ロングビーチ校との交流にまで発展している。



平成21年度の交流事業

- (1) 第22回ロングビーチ市交換学生・教師受け入れ
(7.22~8.11)
- (2) 中学生環境サミットへの学生・教師受け入れ
(8.3~11)
- (3) 英語指導員7人招致

中国・天津市(友好都市)

1980(昭和 55)年 10 月 28 日天津市との間に友好都市提携を結ぶ。

同市は北京、上海、重慶とならぶ中央直轄市(省と同格)で、北京の南東約 120 km、華北平原の東北部に位置している。古くは、名も無い一漁村であったが、13 世紀末に元朝が北京に都を定めてから、南北物資の集散地として発展してきた。

また、天津とは、天京(北京)への渡し場という意味で、北京の海の玄関口としても栄えてきた。

現在では、国際貿易港・天津新港や鉄道幹線の接点にあるなど、水陸運送の重要拠点にあり、また経済技術開発区への外国企業の進出が目覚ましく、食品・繊維・製紙などの軽工業に加え、鉄鋼・造船・自動車などの重工業、大港油田に関連した石油化学工業などを中心に中国北方最大の国際港湾工業都市として大きく発展している。



人 口	約 1,228 万人
面 積	11,760 km ²
平均気温	夏 26.4 冬 -4.0
時 差	-1 時間

同市との交流は、公式訪問団相互派遣、各種専門団の往来など、文化・教育・経済・貿易・環境保護・科学技術及び都市建設などの分野において幅広く進められており、友好関係の推進を図っている。

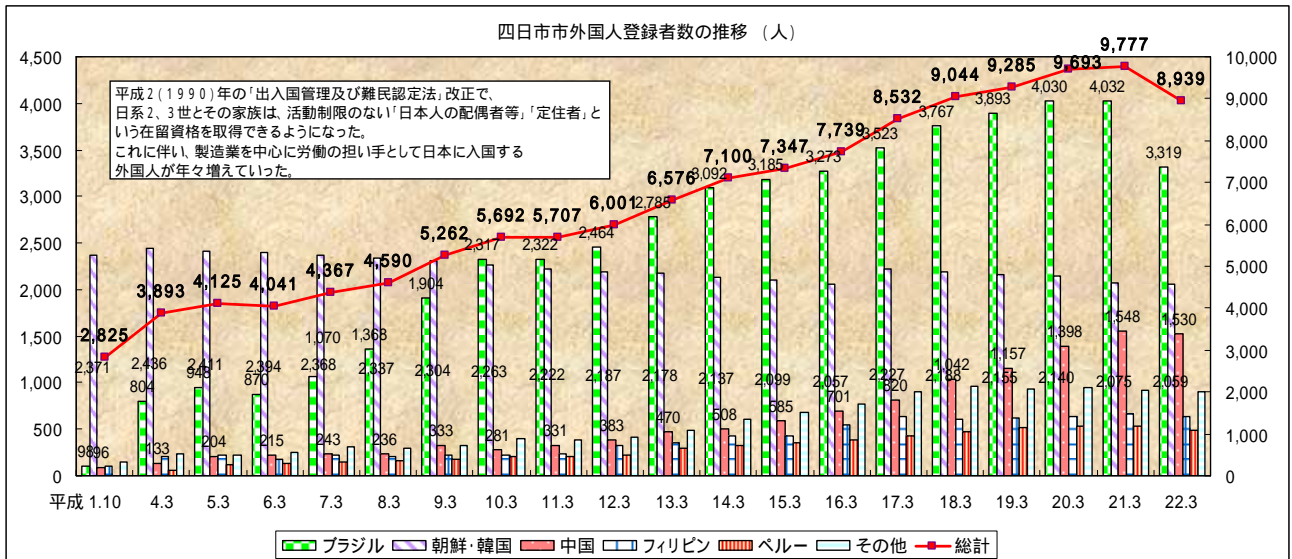
平成 21 年度の交流事業

- (1) 天津市環境保全セミナー開催(9.1~3)
- (2) 国際生態都市建設博覧会視察および
友好都市提携 30 周年記念事業協議のための
代表団派遣(10.26~29)
- (3) 天津市環境研修員受け入れ(11.3~20)

多文化共生

平成 22 年 3 月 31 日現在、本市には 54 カ国 8,939 人の外国人市民が居住しており、市人口の約 2.9% を占めている。平成 20 年秋以降の経済不況の影響により帰国等する者も少なからずいたが、多くは日本での生活を選択し、定住化の傾向は着実に進んでいる。

本市のなかでも笹川（笹川 1～9 丁目）には約 20.0%に当たる 2,287 人の外国人が生活しており、拠点施設「四日市市国際共生サロン」と四郷地区市民センターを中心に多文化共生の推進に取り組んでいる。



母語対応（ポルトガル語・スペイン語）

- ポルトガル語・スペイン語対応職員の配置（本庁・四郷地区市民センターのほか、保育園・幼稚園・小学校・中学校）
- 日常生活に関連の深い文書や通知（生活ガイドブック、ゴミ分別表、入園入学書類、窓口の申請・説明書類）等を順次翻訳

外国人市民への情報伝達、啓発（ポルトガル語・スペイン語・日本語など）

- 転入時に各種制度や生活ルールについての説明や防災啓発などを行う「外国人市民向け生活オリエンテーション」窓口の設置
- 市広報のポルトガル語版発行、FMよっかいちでの市政情報番組、四郷地区市民センター発行の広報「お知らせ Y o g o u」のポルトガル語版・スペイン語版など

日本語習得の支援

- ボランティアによる日本語教室（8 教室）への支援、日本語ボランティア養成講座の実施・協力四日市市国際共生サロン
- ポルトガル語、スペイン語、日本語での対応ができる職員を配置し、日本語教室（大人・子ども）、言葉や文化習慣を理解するための講座、生活相談、職業相談、地域と連携したイベントなど多文化共生の拠点施設として活動している。

推進体制

- 四日市市多文化共生推進本部（市長（本部長）、副市長（副本部長）、部長級 11 人で構成）を平成 22 年 4 月に発足、そのほかに四日市市多文化共生推進協議会（市内の関係行政機関、企業、小中学校、外国人代表で構成）、笹川地区共生推進会議（地域の自治会、小中学校、交番、団地管理事務所などで構成）、四日市市多文化共生推進市民懇談会（市内在住の外国人市民等）など
- 外国人集住都市会議（日系南米人を中心とする外国人住民が多数居住する 28 都市で構成。国・県・経済界等への政策提言・要望や施策情報などの交換を行う）

男女共同参画

四日市市男女共同参画推進条例に基づき、男女共同参画社会の実現に向けてさまざまな取り組みを実施している。

男女共同参画プランよっかいち策定に向け、パブリックコメントを実施するとともに四日市市男女共同参画審議会及び男女共同参画に関する市民さんかく会議において審議を重ねていただき、男女共同参画プランよっかいちを策定した。

男女共同参画センターでは、男女共同参画社会を目指す市民活動の拠点として、女性問題の解決や女性のエンパワーメントの促進に加え、男性や再就職を希望する女性についても参加しやすい事業を開催した。市民や市民グループとの協働を積極的に取り組み、性別にとらわれることなく一人ひとりが自分らしく生きる社会をめざすための施策の推進と事業を行っている。

平成21年度事業

仕事の柱	事業名	事業内容
男女共同参画施策に関する事業	四日市市男女共同参画審議会	男女共同参画プランよっかいちの策定に向け、審議していただいた。
	男女共同参画に関する市民さんかく会議	男女共同参画プランよっかいちについてご意見をいただくとともに、市民グループによるワークショップや活動展示、男性の育児参画をテーマとした講演会等の企画を盛り込んだ「はもりあ月間」(新規事業)を開催した。
	調査研究委託	今後の男女共同参画施策に活かすことを目的に、NPO 法人市民社会研究所に、市内企業のワーク・ライフ・バランスについてのアンケート調査、訪問調査と集計分析を委託した。(1件)
	男女共同参画人材リスト事業	政策決定等の場での男女比の是正をはかるため、審議会等の女性委員の登用率を上げることを目的として作成した女性人材リストを人事課と情報を共有し、庁内での活用促進に努めた。(平成22年3月末現在登録者99名) また、「男女共同参画とは何か」「市政へ女性が参画することの重要性」について考えていただく機会を持つための研修会を開催した。(1回)
	男女共同参画アドバイザー養成講座	調査研究事業を男女共同参画アドバイザー養成講座ステップアップ編と位置づけ、企業の聞き取り調査にアドバイザーを同行するなどスキルアップを図ることにより、地域で男女共同参画を広めていくためアドバイザーの育成を行った。 男女共同参画意識の市民への広がりを市民ボランティアが市民の立場で進める目的で、さんかくカレッジでのミニ講習を担当していただいた。

学習機会の提供および人材養成に関する事業	さんかくカレッジ	女性のエンパワーメントおよび男女共同参画社会を推進するための啓発講座等を行った。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「コミュニケーションスキルアップ講座」4回 ・ 「オトコを磨くパートナーシップ講座」5回 ・ 「はじめての台所」3回 ・ 「男だって甘いもの」2回 ・ 「本当にほしい子育て支援」5回 ・ 「マイケアプランのすすめ」4回 ・ 「ドイツの街の中での高齢者の暮らし」1回 ・ 「おもちゃドクター養成講座」3回
	グループ活動支援事業	男女共同参画の推進に寄与することや、全国各地の市民グループとの交流を図ることを目的とし、日本女性会議への参加費用を助成した。(1グループ)
	情報収集提供事業	男女共同参画センターの情報コーナーの書籍・雑誌・ビデオテープなどの充実をはかった。また、ホームページや情報紙はもりあによる情報発信を定期的実施した。
	再就職を希望する女性への支援事業	三重県と共催で、再就職を考えている女性を対象に「今年中に仕事を持つ方法」を開催した。
	男女共同参画センター3館&5市連携映画祭	男女共同参画週間にあわせ、県内男女共同参画センター3館と5市が連携、本市は「ミス・ポター」を文化会館で上映した。
	こどもさんかくカレッジ	子育て中の方々にはもりあ四日市の場所を知っていただくとともに、クイズを通じて男女共同参画についての興味と知識を得てもらうことを目的に小学生向けの講座を実施した。また、保護者の対象を男性に限定し、男性の子育てへの参加を応援するための講座を実施した。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「自由研究をやっつけちゃおう ちょこっとさんかく教室」(1回) ・ 「大好きパパとそば打ち体験」(2回)
	男女共同参画推進講座	「介護の未来を考える」と題して、介護を自分自身のこととしてとらえ、何を今からやるべきかを考える講座を実施した。(3回)
	はもりあ四日市 映画の夕べ	仕事や家事で、昼間はもりあ四日市を利用することができない方を対象とした、男女共同参画に関する映画を夜間に上映した。(2回)
男女共同参画を推進する市民グループのネットワーク事業	市民協働の観点から事業の企画・運営を市民グループ等で構成する実行委員会へ委託し、「ワーク・ライフ・バランス 仕事と暮らしのハーモニー」をテーマに、市民活動グループによるワークショップ、基調講演、パネルディスカッション等を中心に、開催した。	

相談事業	法律相談	女性相談員による相談の中で、特に専門性の必要なケースについて弁護士による法律相談を開催した。 (11回46件)			
	DV防止講座	DVが子どもに与える影響や子どもの置かれている状況への理解を深め、あわせて支援の方法を学ぶための講座を開催した。			
	相談室における相談件数				
	・内容別				
	DV	夫婦	親子・家庭	暮らし	こころ
	1,328	393	191	56	39
人間関係	保護・更正	生き方	性・性的被害	別れた夫	
35	11	29	7	45	
仕事	体	その他			
5	4	3	合計		
			2,146		
DV被害者給付金事業	DV被害者給付金支給事業	DVにより配偶者等と別居しているために、定額給付金や子育て応援特別手当を受け取れない方に対し、定額給付金等の相当額を支給し、DV被害者の方の生活と子育てを支援した。 平成21年度のみ。の事業。			

戸籍・住民記録

1. 戸籍届出件数の推移

(単位：件)

年度	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
出生	3,957	3,933	3,961	3,776	3,744	3,553	3,843	3,664	3,684	3,677
死亡	2,429	2,471	2,455	2,573	2,662	2,965	2,740	2,891	2,900	2,967
婚姻	3,600	3,580	3,429	3,383	3,197	3,296	3,382	3,440	3,485	3,435
離婚	862	992	957	922	868	946	862	870	853	807

2. 人口・世帯数の推移

*各年度3月31日現在

年度	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	
世帯数	107,695	109,424	111,045	112,279	118,183	120,273	122,284	124,587	126,231	127,082	
人口	294,249	295,419	296,563	296,959	309,648	310,710	311,904	313,495	313,963	313,890	
内訳	男	145,185	145,618	146,156	146,237	152,737	153,433	154,378	155,604	156,069	155,998
	女	149,064	149,801	150,407	150,722	156,911	157,277	157,526	157,891	157,894	157,892

3. 外国人登録人口の推移

*各年度3月31日現在

年度	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
ブラジル	2,785	3,092	3,185	3,273	3,523	3,767	3,909	4,030	4,032	3,319
韓国・朝鮮	2,178	2,137	2,099	2,057	2,227	2,188	2,157	2,140	2,075	2,059
中国	470	508	585	701	820	1,042	1,191	1,398	1,548	1,530
フィリピン	358	434	436	555	630	612	632	640	671	640
ペルー	290	320	357	379	427	479	519	535	532	491
タイ	127	155	163	178	197	202	226	228	206	199
ボリビア	54	71	82	88	154	167	180	182	187	169
ベトナム	60	94	110	152	152	140	112	109	103	99
米国	51	47	48	56	64	62	64	58	70	64
スリランカ	17	23	25	29	45	60	48	40	37	32
その他	186	219	257	271	293	325	325	333	316	337
合計	6,576	7,100	7,347	7,739	8,532	9,044	9,363	9,693	9,777	8,939

その他の数字については下記サイトにある「市民課年報」を参照のこと

(<http://www.city.yokkaichi.mie.jp/home/nenpo.html>)

住居表示整備事業

昭和 37 年に施行された「住居表示に関する法律」に伴い「住居表示整備実験都市」に指定された本市は、昭和 37 年度、まず旧市内の住居表示整備事業に着手し、順次市街地の住居表示整備に努め、平成 6 年度まで 27.876km²にわたり住居表示を実施した。

過去において四日市市は、住民基本台帳上の公称町名、不動産登記簿上の公称町名、自治会を単位とした通称町名が混同され、加えて境界が判然とせず、町界の入り組みも重なって全国でもまれにみる複雑な町界町名を有していた。しかし、住居表示整備事業の進捗とともにこの混乱は解消され、市民の日常生活はもちろん、行政事務にも多大の利便がもたらされている。

なお、平成 21 年度の建物の新・改築等による住居番号の付定件数は 472 件であった。

実施状況

全面積比.....13.56%

住居表示方法.....街区方式

全人口比.....38.36%

フロンテージの間隔.....15m

全世帯数比.....41.62%

(比率は平成 22 年 3 月 31 日現在)

実施年度	実施区域	面積	世帯数	実施状況		
				街区数	旧町	新町
37	旧市内、羽津、海蔵、橋北、浜田南部	km ²	戸			
39		5.892	13,961	784	112	58
40	富田、富洲原	3.319	7,228	418	84	20
41	羽津、海蔵、日永	3.393	4,276	295	32	23
42	羽津、内部	1.942	1,326	145	13	10
43	港、浜田、東橋北、羽津	1.984	2,125	220	18	19
44	港、浜田、共同、常磐	2.015	2,598	168	12	16
45	常磐、海蔵	2.405	1,680	156	14	17
46	日永、内部、河原田	3.125	821	85	14	10
47	日永、四郷	1.292	741	129	9	7
48	大矢知	1.660	1,117	132	6	13
52	常磐、神前	0.429	552	65	3	5
53	浜田、常磐、神前	0.413	881	76	6	5
平成 6	常磐(大字松本の一部)	0.007	28	1	-	-
合計		27.876	37,334	2,674	323	203

世帯数・街区数は、実施日現在

四日市地域総合会館あさけプラザ

あさけプラザは、四日市市および三重郡の住民が文化・教養・福祉・スポーツ・創作・学習・保健など様々な活動を通じて、連帯と潤いのある生活を創造する広域複合施設である。

また、子どもから高齢者まで幅広い層が利用できる各種の施設機能を持ち“ふれあいと語らいの場”として活用される施設である。

当施設は、昭和56年度に国の提唱する「大規模中核施設」(のちに、「田園都市中核施設」と改称)の整備計画を柱とする広域市町村圏のタウンセンターともいえるべき「リージョンプラザ」(=圏域広場)構想に採択され、57年度に建設に着手し59年7月に完成、同年8月18日にオープンした。

その後、年月の経過とともに、施設・設備の老朽化が目立ち始め、特に老朽化が著しいホールの舞台機構や各施設の空調設備等について、利用者に安全安心、快適に使っていただくため、平成19年度から、計画的に大規模改修工事を実施している。

また、図書館においては、利用者へのサービスの向上を図るため、日本図書館協会への加入や三重県図書館情報ネットワークへの参加をはじめ、平成17年度から、あさけプラザ図書館、市立図書館、楠公民館図書室を図書館情報ネットワークシステムで結び、3館のどの館でも借りられ、どの館でも返却できるようになり、また、インターネットでの予約も開始した。インターネット予約については、年々、利用件数が増加している。

また、当館自主事業についても、時代のニーズに適合した講座を適宜、開催するなど、住民の学習意欲に応えるよう努めている。

施設概要

- ・所在地 四日市市下之宮町 296-1
- ・総事業費 約 25 億円(用地費を含む)
- ・竣工 昭和 59 年 7 月 31 日
- ・敷地面積 18,703.69 m²
- ・建築面積 4,679.44 m²
- ・延床面積 6,433.33 m²
- ・構造 鉄筋コンクリート造、一部鉄骨コンクリート造、地上 2 階一部 5 階建

施設

- ・老人福祉施設.....集会室(2室)、浴室
- ・保健衛生施設.....問診室、検診室、身体測定室、機能回復訓練室
- ・図書館、学習室
- ・ホール(326席)
- ・小ホール
- ・展示会議室(5室)
- ・体育館
- ・創作、学習施設.....料理室、美術室、音楽室、陶芸室、茶室
- ・その他.....事務所、あさけコーナー、ロビー、屋外ステージ(中庭)、娯楽談話室、奉仕作業室
- ・屋外施設.....軽運動広場、ゲートボール場、駐車場

施設利用状況（平成21年度）

1. 有料施設

区 分	開館日数	開館コマ数	利用コマ数	利用率(%)	利用者数(人)
ホ ー ル	301	903	397	44	32,140
体 育 館	301	903	844	93	34,573
小ホール	301	903	639	71	11,488
展 示 会 議 室	1	301	578	64	16,936
	2	301	463	51	
	3	301	562	62	
	4	301	589	65	16,084
	5	301	545	60	
料 理 室	301	903	325	36	7,598
美 術 室	301	903	578	64	7,372
音 楽 室	301	903	683	76	14,636
陶 芸 室	301	903	244	27	1,523
茶 室	301	903	346	38	2,702
学 習 室	301	301	99	33	1,825
集 会 室	1	301	42	14	655
	2	301	21	7	768
合 計	-	12,642	6955	55	148,300

2. 図書館

開館日数	利用者数	学習室等利用者	合 計
294 日	111,854 人	6,447 人	118,301 人

3. 老人福祉施設

集会室・浴室			ゲートボール場等		合 計
開館日数	利用者数	1日平均	利用件数	利用者場数	
283 日	35,120 人	124 人	1 件	23 人	35,143 人

4. 保健衛生施設

区 分	開催回数	利用者数(人)
機能回復訓練事業	301	26,536
成人健康相談事業	95	4,179
介護予防事業(健康相談)	0	0
生活習慣病講座	0	0
その他の	5	888
合計	401	31,603

運動広場

開催回数	利用者数
15	441人

高齢者講座

開催回数	利用者数
12	257人

屋外ステージ(中庭)

開催回数	利用者数
4	120人

+ + + + + = 334,165人

全館の状況

貸館の単位は、午前、午後、夜間の3コマに分けて行っているため、

利用率 = 利用コマ数 ÷ 開館コマ数で算出。(小数点以下四捨五入)

学習室と集会室1、2は夜間のみ有料貸し(午前と午後は無料開放施設であり、専用貸しはしていない。)を行っている。

平成21年度 あさけプラザ使用料収入額

16,840,591円

(財)四日市市まちづくり振興事業団

四日市市が100%出捐した財団法人四日市市文化振興財団、財団法人四日市国際交流協会、財団法人四日市市都市整備公社及び財団法人霞ヶ浦振興公社の4法人の解散を受けて、4法人の事業を発展的に継承し、「人と文化と自然を育む活気あふれる港まち四日市」の実現に向けて四日市市のまちづくりの一翼を担い、財団運営の機動性や弾力性を活かした効率的かつ安定的なサービスを行うとともに、行政や市民等との連携・協働を図るといった役割と使命を掲げて、平成20年4月1日に設立された財団法人である。

組 織

- ・名 称 財団法人 四日市市まちづくり振興事業団
- ・所 在 地 四日市市本町9番8号 本町プラザ内
- ・基本財産 2億円(全額を四日市市が出捐)
- ・体 制 別図のとおり(V-36ページ)

事業の概要

文化・芸術の振興に関する事業

1.文化会館・茶室「泗翠庵」の管理運営

文化振興事業については、四日市市文化振興ビジョンを踏まえ、「市民とともに作る市民のための文化会館」「日本の伝統文化を楽しめる茶室」を目標に掲げ事業を実施する。施設管理運営業務については、安全で安心な施設環境を確保した上で、利用者ニーズに対応できる貸館方法の工夫を図りサービスの向上に努めている。

文化振興事業(平成21年度)

まちの活性化につなげる文化活動の展開

- ・まちかどコンサート 近鉄四日市駅周辺で4回開催

次代を担う人材の育成・支援

- ・学び舎音楽会 小学校15校、中学校4校で開催
- ・セミナー 萬古焼セミナー、刀剣鑑賞セミナー、百人一首セミナーなど
- ・第25回四日市文芸賞
- ・各種共催事業 市民ミュージカル、第九演奏会など4事業

優れた芸術文化を鑑賞する機会の提供

- ・平原綾香コンサート
- ・劇団四季ミュージカル「ウエストサイド物語」
- ・松竹大歌舞伎
- ・「第21回 四日市能」 など

四日市の個性を生かした事業

- ・ 情報誌の発行 文化展望 四日市「ラ・ソージュ」第27号
- ・ 財団ミニギャラリー たのしいビーズ展、プリザーブドフラワー展示会など
- ・ 萬古展示 「古萬古展」「現代萬古展」「四日市萬古展」の3回実施

四日市駅西文化ゾーンの中核的役割の推進

市立博物館、図書館などとの連携事業

- ・ 企画展示「昆虫展」

情報の受発信機能の強化

- ・ 文化情報の提供 「催物ごあんない」 毎月発行（組回覧）
- ・ ホームページの拡充

茶室「泗翠庵」事業

- ・ 茶道体験講座 表千家・裏千家・松尾流・遠州流の4流派で実施 2日コース各1回
- ・ 茶道特別講座 「床の間の歴史としつらえ」、茶花鑑賞会「茶花を生けよう」「おいしい冷やし煎茶」、親子ふれあい茶会「家族の絆」など
- ・ その他 開館15周年記念茶会の主催者である茶道教授連盟への支援
「泗翠庵」絵はがき制作

その他

- ・ 文化会館友の会運営事業
- ・ カルチャーサポートシステム 企業の文化事業支援システム

四日市市からの受託事業

- ・ 四日市市美術展覧会など

2. 楠歴史民俗資料館の管理運営

市の貴重な文化財としての資料館及び収蔵資料を次世代に継承することを基本とし、地域の人々と連携して楠地域の歴史文化の掘り起こし、資料の収集、保存、研究に努めるとともに、文化情報の発信、世代を超えた地域の交流の場として親しんでもらえるような環境づくりに努めている。

指定事業

- ・ 企画展示コーナーでの展示 地域サークルの作品展 計12回実施
- ・ 語り部事業 楠歴史民俗資料館保存運営委員会に依頼 土日祝を中心に計127日実施
- ・ 夜間特別開館 ホタル鑑賞、紙芝居等のイベントと併せ、春と秋 計2回延べ4日実施
- ・ 収蔵品展示 旧庄屋岡田家の歴史、貴重な古文書等の展示 通年実施
- ・ 地域団体との協働事業 保存運営委員会と協働して、子ども折り紙教室等開催 計6回

自主事業

- ・ 文化財講座、文化セミナー 「古民家の魅力 旧岡田邸」「刀剣セミナー」など
- ・ 企画展示 「昔のくらし展」、文化会館企画展サテライト展示「ちょっとだけ昆虫物語」
- ・ その他 楠資料館「絵はがき」制作

国際交流・多文化共生の推進に関する事業

諸外国との相互理解と友好親善を深め、外国人にも住みやすい「世界に開かれたまち四日市」の実現を目指して、市民参加型の幅広い国際交流や国際理解の推進に関する事業を行う。また、多文化共生社会の実現を目指す四日市市の方針に沿って、その基盤づくりに貢献する事業を実施する。

賛助会員制度

地域の活動の輪を広げ、より広範囲に有益な国際交流事業を運営し、事業及び運営資金面への支援を得るため、事業の趣旨に賛同する個人、団体による賛助会員制度を設けている。

会費(年間) 個人 一口 ¥3,000 団体一口 ¥10,000

ボランティア制度

市民の国際交流活動を活発にするとともに、国際意識と国際理解を醸成するため、市民の協力による通訳等下記のボランティア活動を行うことを目的として、ボランティア制度を設けている。

- (1) 日本語指導
- (2) 通訳・翻訳
- (3) ホームステイ、ホームビジットの受け入れ
- (4) 日本文化紹介
- (5) イベント補助

主な事業(平成21年度)

諸外国との相互理解と友好親善の促進

コーヒープレイク(英語による国の紹介)、各国理解講座、世界のクリスマス、日本伝統文化探訪、新春茶会、各種外国語講座等

多文化共生社会の基礎づくりの取り組み

外国人生活相談、外国人出入国・在留手続き無料相談、日本語学習支援、四日市市国際共生サロンの管理運営(指定管理者)

市民参加の幅広い交流活動の推進

- ・ 国際交流活動への協力 地域や学校及び民間交流団体への協力等
- ・ ボランティア活動の推進 ボランティア活動に対する支援・協力及び研修会実施等

その他

- ・ 広報活動と情報の提供 機関紙発行、海外雑誌、新聞等の閲覧提供、ホームページ等
- ・ 米国ロングビーチ市の交換学生・教師(トリオ)の受入 四日市市からの受託事業

スポーツ及びレクリエーションの増進に関する事業

市民に身近で安価な親しみやすく、利用しやすいレジャー施設を提供するとともに、安全性の確保に努めている。

主な施設の概要

1. 伊坂ダムサイクルパーク

(1)概要

サイクリングコース

- ・竣工 昭和53年7月29日
- ・建設費 77,389千円 (財源内訳) 日本自転車振興会補助金 23,900千円
年金福祉事業団(当時)借入金 53,000千円
自己資金 489千円
- ・施設内容 サイクリングコース 全長9km 休憩所6棟 フェンス 標識等
自転車格納庫 伊坂ダム215.2㎡ 山村ダム79.5㎡
自転車保有台数 101台
一般車90台(子供用、かご付等含む) タンデム車11台

サイクル広場

- ・竣工 平成5年3月25日
- ・建設費 104,438千円(財源内訳) 日本自転車振興会補助金 37,510千円
年金福祉事業団(当時)借入金 39,200千円
自己資金 27,728千円
- ・施設内容 モトクロス自転車コース 全長200m
変わり種自転車コース 全長470m
管理棟兼自転車格納庫 197.5㎡
自転車保有台数 51台
マウンテンバイク20台 変わり種25台 一輪車6台

その他

ログハウス(サイクルパーク管理事務所)149.1㎡

- ・竣工 平成4年3月31日
- ・建設費 35,000千円
- ・施設内容 休憩室 自転車格納庫 トイレ 事務所 倉庫

チビッコカー乗り場及びレストコーナー

- ・竣工 平成6年3月25日
- ・建設費 16,830千円
- ・施設内容 チビッコカー乗り場528.2㎡ レストコーナー321.3㎡

(2)利用状況

年度	サイクリングコース	サイクル広場	チビッコカー
平成17年度	16,893	19,006	7,972
平成18年度	15,216	19,017	7,650
平成19年度	13,566	18,102	8,005
平成20年度	15,027	19,572	8,570
平成21年度	15,194	19,441	8,162

2. 四日市スポーツランド

(1)概要

アスレチックコース

・竣工 昭和54年7月29日

・建設費 91,925千円 (財源内訳) 日本宝くじ協会補助金 33,000千円
年金福祉事業団(当時)借入金 57,300千円
市補助金 1,625千円

・施設内容 アスレチックコース 全長 1.3 km 遊具 36 基
管理棟 134.6 m² トイレ 駐車場約 200 台

高岡山周辺施設

・竣工 昭和59年3月3日

・建設費 226,850千円 (財源内訳) 雇用促進事業団(当時)建設分 150,000千円
年金福祉事業団(当時)借入金 44,800千円
自己資金 32,050千円

・施設内容 センターハウス 710 m²
スーパースライダー 全長 150m
大型トリム 高さ 6m
ローラースケート場 1周 100m
デーキャンプ場 713 m²
芝生広場 多目的広場 修景池 トイレ あずまや等

その他

FRP製恐竜遊具 3体(ディメトロドン トリケラトプス プラテオザウルス)

ジャンピングシーソー 4基 ちびっこプール 100 m²

チビッコカー広場 センターハウス内自然観察展示コーナー

サイクリングコース 自転車格納庫

自転車 49台 一般車 9台(婦人用、子供用) マウンテンバイク 40台

(2)利用状況

年度	サイクリングコース	アスレチックコース	スーパースライダー	ローラースケート場
平成17年度	487	18,881	24,793	3,272
平成18年度	424	19,701	21,623	3,093
平成19年度	490	18,311	16,511	2,457
平成20年度	576	20,170	18,263	2,655
平成21年度	491	24,663	20,001	2,815

年度	デーキャンプ場	ちびっこプール	チビッコカー
平成17年度	5,349	815	5,930
平成18年度	5,606	1,058	5,481
平成19年度	5,307	1,126	5,200
平成20年度	5,303	833	6,368
平成21年度	7,144	1,115	7,040

都市施設の管理及び都市環境の維持保全に関する事業

指定管理者として指定された施設、また、その他四日市市からの受託事業についても、効率的な管理及び快適な市民サービスの提供に努めている。

事業団の施設である賃貸住宅・賃貸店舗の管理運営と各団地内等の月極駐車場の管理運営を行っている。

主な管理施設、事業の概要(平成21年度)

1. 四日市市からの受託事業

(1) 建物等管理事業

指定管理施設

- ・四日市市市民交流会館管理
- ・四日市市総合会館集会施設管理

その他施設(受託)

- ・四日市市本町プラザ管理
- ・四日市市視聴覚センター貸館管理
- ・視聴覚ライブラリー管理
- ・旧(株)三重ソフトウェアセンター社屋管理

(2) 緑地管理事業

- ・伊坂、山村貯水池周辺緑地管理

2. 自主事業

(1) 住宅等管理事業

- ・賃貸住宅管理運営(坂部団地 31 戸)
- ・賃貸店舗管理運営(三重団地 19 戸)
- ・月極駐車場管理運営(坂部団地 38 台、三重団地 32 台、あさけ団地 19 台、桜台団地 57 台)

(2) 駐車場管理事業

- ・近鉄湯の山線高架下月極駐車場管理運営(58 台)

四日市市及び市民等と連携・協働したまちづくりに関する事業

主な事業(平成21年度)

市からの事務受託事業

- ・道路占用許可等に係る事務受託事業

自主事業

- ・防犯外灯新設維持費補助金交付事業

まちづくり関係事業団体との連携支援

関連事業団体の運営支援や連携を図り、まちづくりの幅広い展開や事業の相乗効果を高めるため、四日市市土地開発公社及び財団法人三重北勢地域地場産業振興センターへの人的支援等について連携を図っている。

霞ヶ浦会館の活用に関する事業

霞ヶ浦緑地諸運動施設利用者の合宿及び競輪参加選手の宿泊に供するとともに、広く各種団体及び企業等の宿泊研修、会議の場として地域振興に努めている。

主な事業

霞ヶ浦会館の運営管理

霞ヶ浦会館の活用による市民活動の交流推進

ア 市民のコミュニティ活動の推進

会議室、大ホール等を利用して、市民の余暇活動及びコミュニティ活動を推進するため利用促進を図る。

イ 教育文化の向上

視聴覚施設を有する大ホールにおいて、各種講演会、研修会の開催を推進し、教育文化の向上に資するため利用促進を図る。

ウ 健康の維持増進

会館利用者に対し施設の付加価値としてマシンジム室を無料開放し、市民の健康維持増進を図る。

競輪施設の管理運営業務の受託

四日市市が実施する競輪事業の安全管理業務を受託する。

〔平成21年度の主な利用状況〕

競輪参加選手の宿泊（年間延宿泊者数 6,258人 / 前年度実績 6,481人）

各種団体の宿泊研修（年間延宿泊者数 3,732人 / 前年度実績 4,107人）

大ホール、会議室、和室、レッスンホールの利用

（年間利用件数 154件 / 前年度実績 140件）

財団法人四日市市まちづくり振興事業団 組織体系図(平成22年4月1日)

理事会 理事15名(常務理事含む)
監事 2名

評議員会 評議員15名

